

7時間目「地元での買い物って？」

エシカル消費

エシカル消費	人・社会への配慮	誰かのために	—	・フェアトレード商品 ・からだを思いやる商品
		社会のために	—	・寄付付き商品 ・障がい者が作った商品
	地域への配慮	地元ののために	—	・地産地消 ・地元での買い物
		どこかののために	—	・被災地への応援消費 ・伝統工芸
	環境への配慮	地球のために	—	・リサイクル(エコマーク付き)商品 ・食品ロス削減 ・オーガニック(有機)商品など

平成三十年七月

当番
小 高
磯 畑

皆さんは、子どもの頃に憧れた職業を憶えていますか？その中で、何かのお店をしたいと思った人はどれくらいいるのでしょうか？私は、誕生日にショーケースに並んでいるたくさんのケーキを眺め、そこから好きなものを選ぶのがとても楽しみだったので、ケーキ屋さんになりたかったのを憶えています。

ところで、皆さんは普段どこで買い物をしていますか？移動に時間をかけたくない人は、近くのお店や通勤ルートにあるお店を選んだり、珍しいモノやたくさんの商品から選びたい人は、遠くのお店まで足を運んだりしていることでしょう。それぞれの考え方によって、買い物をする場所も様々ですが、「顔なじみのお店に少しでも貢献したい」という思いから、地元のお店を選ぶ人もいたりします。

今回の授業で皆さんに知ってもらいたいことは、(前回同様)誰かと誰かが結びつく、ということです。

『地元での買い物』とは、**地元で買い物をすることで、お客さんと身近なお店が結びつき、地元商店の活性化だけでなく、災害や犯罪から地域を守る安全・安心なまちづくりにつながるものと、私は考えています。**

たとえば、地元の商店で野菜を購入する時、お店の人から旬の野菜を聞いたり、おすすめの調理方法を教えてもらったりと、常に会話が飛び交っています。たまには、世間話に花を咲かせることもあったりしますが、そういった身近な関わりが、賑わいや活気となり、地域のまとまりへとつながっていくのです。

買い物をする際、地元で買い物をしてみましょう。そして、自分たちの地元やそれに関わっている人たちへ、**ちょっぴり幸せを贈って**みませんか？

来月の授業は、「被災地への応援消費」です。被災地への応援消費とはどのようなものなのか、被災地にどのように影響するのかを掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎ 6 7 2 - 5 9 9 4

【ひとくちメモ】

※地元の商店では、体を気づかって厚意で商品を配達してくれたり、訪問ついでに色々な相談に乗ってくれたり、顔なじみならではの心づかいがあったりします。

板野町の取り組み

板野町商工会 ☎ 6 7 2 - 0 4 4 3

板野町には、板野町商工会があり、町内の事業者向けに“よろず相談所”として税務相談、労務相談、経営相談や支援、金融相談やあっせんなどを行っています。その他にも、加工品の開発支援のセミナーや創業を目指している方への支援なども行っていますので、なんでもお気軽にご相談下さい。

また、商工会の青年部が開発した「つけもの侍 いたのすけ」は“地元のもので、いいものをつくらう”をテーマに、現在4種類を展開しています。



『つけもの侍 いたのすけ』

『エシカル消費』とは、**人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。**

ある日の先生

私もよく買い物中にお店の人と世間話に花を咲かせるんです。
ん？ヤバ…(・_・) ;
話に夢中で…
“いたのすけ”買うの……
……………忘れ……

